月刊 かわごえ環境ネット

2017年9月号 No.131　　http://kawagoekankyo.net

2017 年 9 月 5 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

2017 アースデイ・イン・川越 昭和の街（10/1）

ポスターは文芸作品募集時のものです

10 月 1 日（日）10:00-15:00 に蓮馨寺界隈で開催される恒例のアースデイ。今回から「昭和の街」の名前を冠して実施です。（詳細 10 面）

川越まつり会場クリーン活動（10/14・15）

10 月 14・15 日（土・日）の川越まつりにおいて 11:00-21:00 の 2 時間単位で会場クリーン活動。ボランティア 100 名募集！（詳細 10 面）

目次

コラム	私のエコ体験（15）究極のエシカルへ“ピンピンユルサラ”への挑戦	2
報告	かわごえ環境ネットの活動（2 題）	3-5
	会員の活動（3 題）	5-8
	理事会・専門委員会（2 題）	8-9
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事（10 題）	9-12
	会員・関係団体の主催・関連行事（7 題）	12-15
	広報委員会からのおしらせ	15
	イベントカレンダー（9 月 6 日～10 月 14 日）	16

【コラム】私のエコ体験（15）究極のエシカルへ“ピンピンユルサラ”への挑戦

◎地球環境へやさしい「エコ暮らし」

省エネ第一で、今の季節は「ウォームビズ」で、「頭寒足熱生活」を実践と書いたのが、今年の 1 月でした。あれから半年過ぎた今年の夏は、猛暑と曇天の不順な夏でした。「地球環境」の異常さを予想させる夏でした。今年は、緑のカーテンも何となくめんどうで、よしずをかけて 7 月は過ごしました。8 月からは曇天続きで、よしずは必要なく、部屋も明るくて照明が不要でした。緑のカーテンだったら昼間は薄暗く、照明が必要ではなかったかと、歳をとっての“ものぐささ”がもたらした「省エネ」の夏でした。

◎電気への不安は解消されたのか？

エコとうたった省エネ家電も普及し、電力使用量問題への関心は薄れてきたようです。全国の電力供給量が話題になったのも昔の話になりました。街頭の自動販売機の数も減っていません。電力の使用をいかに減らし、自然エネルギーの活用に転換しなければといった切迫感が、今年の夏は感じられませんでした。もっぱら、米国トランプ大統領の「パリ協定離脱」で、この画期的な地球環境改善への関心も薄れてしまいました。それよりも、雷や送電設備の老朽化による停電の影響が心配されています。家庭から社会全般までまさかの停電の影響は計り知れません。

◎「もったいない」から「エシカル」へ

消費でも、食品ロスを減らす運動が新聞をにぎわしましたが、現実には対策は進んでいないようです。スーパーやコンビニでも、こんなに商品が豊富にあって、余らないのかと心配ばかりです。「賞味期限」「消費期限」のレッテルに縛られた食品行政にも疑問が投げかけられています。食品の衛生重視が無駄を進めている結果となっています。最近の「O157 問題」でも、製造過程の衛生管理は徹底していても、末端の消費者の衛生管理意識が薄れていないか心配です。「ものを大事に」「売り切れても明日がある」「ちょっとお待ちください」のような「もったいないから捨てない！」という“商習慣”ができないものかと願っています。

「もったいない」や「3R 運動」などの呼びかけも新鮮さを失いかけています。最近の環境改善のキーワードは「エシカル」だと言われ、その名を冠した本も出ましたが盛り上がりません。ただの“もったいない”から、人間の行動全体に配慮した「エシカル（倫理的）な考え方」へ、生産・消費・廃棄・終末処理へとつながるべきだと痛感しています。

◎高齢者社会のエシカルな生き方

この 8 月から、高齢者の医療費や介護費用の自己負担比率が上がりました。今のままでは社会保障費は増加するばかりで、悲観的な見通しが伝えられています。近いうちに、5 人に 1 人が認知症になるとの予想もされていますが、この人らの介護を考えたら、私ら高齢者でも将来が悲観されます。ましてや次世代の人らにとっては身のつまされる大問題です。

それで、「健康寿命」を伸ばして、医療費や介護費の削減を図ろうと国を挙げて「健康長寿・健康長寿」と音頭をとっていますがこれでいいのでしょうか？ラジオ体操や一万歩運動の奨励で健康になっても、いつまでも続きません！「いつまでも　ピンピンキラリは　夢の夢」です。“ピンコロリン”といかずに“ずるずる”と介護と医療の世話になるのが今の状態です。誰も“コロリン”の仕方を教えてくれません。自然な「エシカルな生き方」は？と自問しました。

◎次世代に感謝される「最後の姿」へ挑戦

世界平和、地球環境改善、次世代の幸福を気遣いながら、少しでもお役に立つような毎日の行動が「ピンピンキラリ」の姿と言えましょう。

しかし、これはいつまでも続きません。必ずやってくる「衰え」。ここを冷静に対応し「ユルリとゆるんでサラッと逝く」。80 歳過ぎたら次世代に感謝される自然にエシカルに「ピンピン

ユルサラ」の生き方が求められます。　（武田侃蔵）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

「虫の観察会」報告（7 月 30 日）　自然環境部会

日時：7 月 30 日（日）9:00～12:00
参加者：26 名、市職員 6 名、自然環境部会 3 名
場所：川越南文化会館、「（仮称）川越市森林公園」計画地
講師:大塚豊（自然写真家、日本野鳥の会東京）、谷津弘子、本間幸治（NPO 武蔵丘陵森林公園の自然を考える会）

この虫の観察会も回を重ねて 15 回目になります。今年からは環境政策課みどりの担当との共催行事になり、市が行う生き物調査の一環として位置づけることになりました。今夏の気候もちょっとおかしく、7 月中旬ころは猛暑でしたが、夏休みに入ってからはぐずついた梅雨のような天候がつづきました。当日も前夜からの雨が止まず､室内からのスタートになりました。

このような天候にも拘わらず、ほとんどの方が参加され、虫網、虫かご、長靴、合羽と万全の準備です。開会は箕輪環境政策課長の挨拶、講師紹介で、続いて自然写真家の大塚豊さんの撮りためた写真をみせていただきました。プロの写真家ですから、なかなかステキな映像でした。

そうこうするうち、雨が止みましたのでフィールドに出ることにします。まず、駐車場わきの草原は、近づいただけでバッタがピョンピョン飛び出します。オンブバッタ、クルマバッタモドキなどです。子どもたちは網や素手で次々捕まえます。雑木林の中へ入っていくとセミしぐれに囲まれます。今年はセミの出現が遅かったのですが、やっと 4 種（ニイニイゼミ、ヒグラシ、ミンミンゼミ、アブラゼミ）が出そろいました。地面がまだぬれていて、カタツムリ（ヒダリマキマイマイ）もよく見つかります。マメコガネ、カナヘビなども顔を出し、ルートは明るい畑のある場所に進みます。この畑は利用していないので草原になっていてウスバキトンボが上を飛んでいます。子どもたちはここぞと網をブンブンまわしながら、何と、ウスバキトンボを捕まえました。このトンボはなかなか止まらないので捕まえるのは至難の業です。講師の方が、胸の模様で確認しました。しばらくするとどんどんトンボが増えてきます。子どもたちが走り回って虫が追いやられ、それを狙ってトンボが集まってきたのであろうというのが講師の話です。

虫さがしにはあまりいい天気ではありませんでしたが、大勢の眼力でたくさんの生き物に出会えました。やはりこの場所が樹林、草原と多様な環境を擁しているのがすばらしいのでしょう。講師の講評もこのような場所をぜひ残していってほしい、でした。次ページにこの日のリストを掲載します。　（賀登環）

雑木林のなかで

ナナフシ見つけた！

トンボつかまえた！

7 月 30 日の「虫の観察会」で発見した動植物

2017年7月30日（日）雨のち曇

類	目	種名		
哺乳類		アズマモグラ（巣穴）		
鳥類		ツバメ	ハシボソカラス	ハシブトカラス
		ホオジロ		
昆虫類	チョウ目	アカボシゴマダラ	クロアゲハ	モンシロチョウ
		ゴマダラチョウ	ツマグロヒョウモン	スジグロシロチョウ
		ナミヒカゲ		
		コシロシタバ（ヤガ科）	ナガクロクチバ	マメキシタバ
	蜻蛉目	ウスバキトンボ		
	甲虫目	マメコガネ	アオドウガネ	スジコガネ
		カブトムシ	オオヒラタシデムシ（幼虫）	
		ヨツボシケシキスイ	クロウリハムシ	
	直翅目	ショウリョウバッタ	クルマバッタモドキ	オンブバッタ（幼虫）
				ササキリ（幼虫）
		エンマコオロギ（幼虫）		サトクダマキモドキsp
		クビキリギス（幼虫）	クサキリsp(幼虫)	
	カマキリ目	オオカマキリsp（幼虫）	コカマキリ（幼虫）	
	ナナフシ目	ナナフシモドキ（幼虫）		
	カメムシ目	ニイニイゼミ	アブラゼミ	ミンミンゼミ（声）
		ヒグラシ	アオバハゴロモ	
	ハチ目	クロヤマアリ	キイロスズメバチ	モンスズメメバチ
		ニホンミツバチ	ジガバチsp	ベッコウバチsp
	ハエ目	シオヤアブ		
クモ類		ジョロウグモ(コガネグモ科)	コシロカネグモ（アシナガグモ科）	
		カニグモsp		
		イオウイロハシリグモ（キシダグモ科）		
		サツマノノミダマシsp（コガネグモ科）		
		コクサグモ（タナグモ科）		
		チリイソウロウグモsp卵のう（ヒメグモ科）		
陸生貝類		ミスジマイマイ	ヒダリマキマイマイ	
植物		ヤブガラシ	サルトリイバラ	ヤマノイモ
		クズ	ツリガネニンジン（花）	
		エノキ	コナラ	クヌギ
		ヤマザクラ	ウワミズザクラ	エゴノキ
		アオハダ	リョウブ	ヒノキ

8月8日谷津作成

「小江戸川越打ち水風情 2017」に参加して

7 月 29 日（土）「川越百万灯夏まつり」のオープニングを飾る「小江戸川越打ち水風情 2017」に参加しました。川越市内の 4 ロータリークラブ主催によるイベントで、今年の幹事は川越小江戸ロータリークラブ、当日司会は同クラブの山本氏（接骨院オーナー）でした。午前中は前日に引き続き暑さが厳しく、午後予報は雨。前日のニュースで小池東京都知事の打ち水の普及

推進が話題になっていましたが、川越の「打ち水」は何と 12 回目を迎えています（残念ながらニュースにはなっていません）。

開会式は、川合市長の挨拶に始まり、天候を気にしながらの進行でした。今回使用した水は「幸すし」さんの井戸から汲み上げたもの。例年、新河岸川の水を使用していましたが、多少香るのがあっての変更だったのかな？風情のある手桶からの打ち水は、カメラマンの方達には好評で、沢山のシャッター音が響いていました。

結果は、14:00 路面 38.2℃が 14:20（打ち水 10 分後）路面 34.9℃と約 3℃下がりました。例年はカンカン照りの路面で 50℃近くあるときに 5℃程度の下がり具合なので、けっこう優秀な下がり方です。計測後、大粒の雨が降り始め、しばらく雨宿りを余儀なくされました。もうちょっと天気が持ってくれれば、家庭での打ち水のお願いなどができたのにと残念でした。

（横山三枝子）

準備された舞台と手桶

打ち水中。路面の色が変わりません。

【報告】会員・流域の活動

ネオニコチノイド系農薬と発達障害について

かわごえ里山イニシアチブ

8 月 11 日～12 日に全国農業教育研究会主催、民間稲作研究所後援の「全国農業教育研究会」に参加してきました。注目すべき脳神経科学者の黒田洋一郎博士の「ネオニコチノイド系農薬と発達障害について」の講演がありましたのでその概要を紹介します。

2 月に文部科学省から、これまで発表してこなかった自閉症、発達障害（ADHD）、学習障害児童が 10 人に 1 人という割合で劇的に増加している衝撃的な統計と報告書が発表された。これに関連して黒田洋一郎博士は、ネオニコチノイド系農薬と発達障害の関係を長年研究し、脳神経メカニズムを科学的に解明し、自閉症、発達障害（ADHD） はネオニコチノイド系農薬が原因と結論づけている。

客観的事実として、2012 年の OECD 発表の農薬使用量と比較してみたところ、農地単位面積当たりの農薬使用量が世界 1 位と 2 位を占める韓国と日本が、自閉症児の有病率でも共に世界 1 位と 2 位で一致し、使用量と有病率が 3 位の英国、4 位米国の順位も一致した。

ネオニコ農薬を含め、発達神経毒性を含めた農薬全体の安全性からいえば、欧米と比べても日本は異常ともいえる現状である。

佐渡のトキは長年生殖に失敗していたが、ネオニコチノイド系農薬を地域で使わなくなってから、繁殖に成功した。また無農薬で栽培された地域米は、“トキ米”としてブランド化された。

豊岡のコウノトリも、農薬を使わなくなって繁殖に成功し“コウノトリ米”は地域再生に役立っている。

農薬に汚染された野菜など食物の摂取、有害

な殺虫剤などの毒性化学物質を、脳に入れないことが肝心で、特に幼児期から学童期の脳は、まだ毒物の侵入に弱いので注意するべきである。

最後に「未来を守るために―無農薬/有機農業の推進」を提唱しています。

最近､日本の農産物も輸出されるようになり、日本の農薬残留基準の緩さが問題となっている。

さらに 2020 年の東京オリンピック選手村で供給される農産物は、農薬の使用などが厳しく規制されている｡国際認証のある有機農産物は、日本全体でわずか 0.4%しかなく､今から準備しても間に合わない状況である。ほぼ毎日、浸透

講演をする黒田洋一郎博士

性のため洗っても落ちない、ネオニコチノイド系農薬に汚染された食べ物を知らず知らずのうちに食べていることは問題である。未来を担う子どもの脳の健康に関わる重大事である。

日本でも、無農薬/有機農業は盛んになりつつある。それらの生産物を、私たちが購入して食べる、保育園、幼稚園、小中学校の給食に使うことなどにより解決できる部分がある。

講演を通じて、我々が推進している「命育むコメづくり」は地道に行っていく必要性を痛感した次第です。

（増田純一）

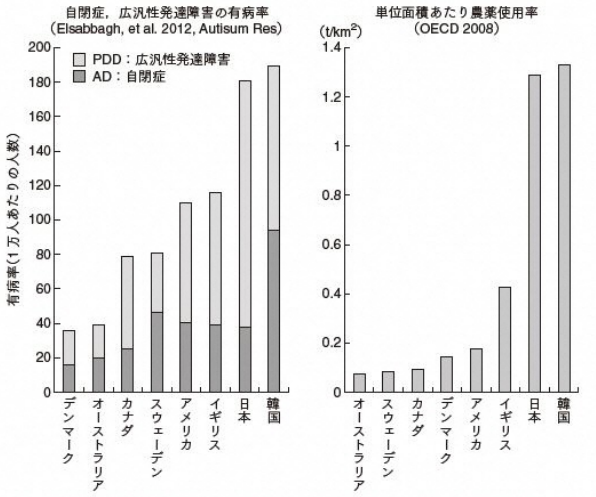

図 5―OECD 加盟主要国の農地単位面積当たり農薬使用の実態と自閉症スペクトラム障害の有病率
韓国，日本，イギリス，米国まで上位 1~4 位までは，単位面積当たりの農薬使用量と自閉症(AD)＋広汎性発達障害(PDD)の有病率が一致した。最近診断名が替わり，両者を併せて自閉症スペクトラム障害(ASD)と呼ぶようになった。文献 5，図 8-1 より(一部説明を改変)。

農薬使用量と発達障害有病率は一致

荒川流域ネットワーク主催「都幾川でアユ漁に挑戦しよう」に参加して

この行事があったのは、8 月 11 日（金)、「山の日」で祝日でした。祝日となったのは最近ですが、山といえば、いろいろ思い出あり、55 歳から 70 歳にかけてパキスタンの山に 3 回､ボルネオのキナバル山、台湾の玉山、国内は、富士山はもとより、剣岳、槍ヶ岳、北穂高岳、白馬岳、八ヶ岳等に登ったのが懐かしく思い起こせます。

1）概要

川については、子供の頃、遊んだのが基で、現在、ぼちぼち活動をしていますが、今回は、都幾川の状況、行事の状況が知りたく、参加しました。

かわごえ環境ネットで参加したのは、スタッフとして参加した菅野さんと任意参加の私の 2 名でした。場所は、槻川の合流点の二瀬橋の下でした。

中間部分に橋脚があり地引網が使えなかったので、橋までは 100m ぐらい下流から、大人も子供も横一列に並んで魚を追い上げ、橋の上流で地引網を用いて追い上げ、上流に川幅いっぱいに設置した網の所まで追い上げました。網まで 10m ぐらいになったところで､投網で捕ったり、子供たちがライフジャケットを着用し、水中眼鏡をつけて丸くなって網を落とし、魚を押さえてつかみどりをしたりしました。

水はきれいでしたが、真夏でありながら、寒い日で、水深もひざ上まであり、我々も寒く感じましたが、子供たちは腰までつかり、寒さで唇が青くなっている者もいて早々に切り上げました。

捕らえた魚で多かったのがブラックバス（コクチバス）、ウグイ、カワムツ、オイカワ等でした。残念ながら、アユは一匹もいませんでした。コクチバスは外来種で駆除するのかと思っていましたら、釣りの醍醐味があるので、駆除はしないとのことでした。量的には、想像以上に多量の魚が捕獲できました。一部の魚を子供たちが持ち帰りましたが、残りは全て放流しました。

2）魚の勉強

魚の有識者であります県の環境科学国際センターの金澤講師に、それぞれの魚の解説をしていただきました。中流の瀬に住む魚の代表的な魚の捕獲ができ、子供たちも熱心に視聴していました、私は、不勉強で、初耳の事も多くありましたが、子供たちの中には、驚くほど詳しい小学生もいて頼もしく思いました。

3）アユ

荒川流域ネットワークでは、毎年、菅間堰下で標識アユを放流して、遡上調査をしており、今年も 4 月 30 日（日）に行い、私も参加しました。今回、一匹も捕獲されなかったのは残念でした。機会がありましたら、原因を聞いてみたいと思っています。

アユの捕獲が難しいと想定してか、金澤講師が、養殖アユと天然アユの 2 通りのアユの塩焼きをたくさん準備してくれて、比較試食をしました。気持ちの問題かも知れませんが、骨まで丸かじりして天然アユのうまさを実感しました。

4）投網

広いブルーシート広げ、その上に魚を見たてて菓子をばらまき、子供たちに、投網の使い方の体験をさせました。ちょっとした指導で比較的うまく環を描いて投げていました。私も体験してみたくなりました。今回も経験者は、真円に近い形で大きな環を作って投げて多くの魚を捕獲した人がいて、これぞ熟練したプロ技と感心しました。

5）感想

都幾川・槻川は入間川に比べて水量も多く、中流地域は、流れも中速で魚も多く、川遊びに適しているように思いました。アユは、中流の清流に住む魚の代表として魅力ある魚であり、遊びの拠点となりうる所かと思います。川の水もきれいで、ここの魚ならどんな種類の魚でもおいしく食べられるのではないかと思いました。川越地域では、このような雰囲気は味わえないと思いますが、川越なりの計画で、親子含めて、参加することにより、盛り上がるイベントが行えると、活性化につながるのではないかと思います。

漁協、荒川流域ネットワーク等の協力を得て御伊勢塚公園の北側の小畔川で地引網を使って子供たちと楽しんだら面白いなと思ったりしています。

（南小畔親水クラブ　　原嶋昇治）

川下から魚の追い上げ

輪になって網を落として魚の捕獲

水中眼鏡で網下の魚を捕まえる

赤間川灯ろう流し　昨年に続いて 8 月 19 日に実施

町会やボランティアで準備

灯ろうもって子供らが集まる

来賓らから始まる灯ろう流し

江戸時代からゆかりのあった赤間川灯ろう流しは、地元石原町会の企画で昨年復活し、今年も 8 月 19 日に行われました。昨年は、昼間から大雨で開催が心配されましたが、晴れ間を縫って急流になった赤間川に灯ろうを流しました。

今年は、午後晴れていましたので、6 時開会で大丈夫と予想し、町会役員や多数のボランティアの応援で準備し、浴衣姿の子供らも川岸に待機し、万全の準備で開会を待ちました。

5 時半から川合市長らも出席して開会式を行い、川岸に降りて来賓から灯ろうを流しました。今年は、曇天続きでしたが水量は少なく、流れがゆるくて灯ろうはなかなか流れてゆきませんでした。そして、子供らが流し始めたら突然の雷雨、傘をさしながらびしょ濡れの灯ろう流しでした。　（武田侃蔵）

【報告】理事会・専門委員会

事業運営委員会

8 月 30 日（水）10:00-12:00 に委員 7 名と事務局の出席で第 4 回事業運営委員会を開催しました。

（1）事業報告

・エコプロダクツ川越 2017 への出展（7 月 23 日）：本紙 8 月号で報告済。今年の反省をふまえて、次年度は会員事業者を支援する取組があってもよい。また、子どもへのアピールを主として体験展示・工作などを企画する必要がある。

（2）事業計画

・川越青年会議所「2017 年度心豊かなまちづくり事業」への協力（9 月 9 日）：月刊紙・チラシで周知を図る。内容は自然環境を使ったビンゴゲームと聞いている。

・川越まつり会場クリーン活動（10 月 14・15 日）：100 人募集（昨年 80 人）

・第 16 回かわごえ環境フォーラム（2 月 25 日）：ウェスタ川越市民活動・生涯学習施設（2 階）活動室 1・2 で開催（午前・午後通しで部屋を確保）。環境活動報告集募集・様式、協賛募集案を了承、微修正の上 9 月号に同封する（協賛依頼は会員事業者に配付した後、個別に協賛を依頼する）。講演会講師とカフェのテーマを検討した。講師候補者として第 1 候補となった方に講演を打診する。午後の部のテーマは（仮題）「川越のみどりを考える」とした。終了後の懇親会は、講師を囲んで小さな規模で開催する前提で検討する。　（委員長　小瀬博之）

社会環境部会

8 月例会は 8 月 10 日（木）福田ビル 3 階会議室において 6 名の出席のもとに開催されました。

1.理事会報告

7 月理事会の状況について部会代表から報告があり、アースデイ行事について武田さんから補足説明がありました。

2. 7 月 23 日開催したエコプロダクツ川越 2017 への出展

子供の夏休み行事への参加ではなく、環境問題について多勢の人の関心を集める工夫が必要であり、かわごえ環境ネットの今年の取り上げ方では個々の出展者の参加意欲を削ぐ恐れがあるとの強い意見がありました。

3.今後の行事予定について

（1）パッションフルーツ挿し木・育苗講習会 9 月 9 日（土）13 時 30 分から北公民館を会場として井口会員の指導で実施します。既に予定を上回る参加希望の申し込みがあるそうです。

（2）環境施設見学バスツアー

9 月 15 日（金）群馬県下のサンデンフォレスト、ぐんまフラワーパークを見学します。8 月 10 日から参加希望者を受け付けます。

（3）環境講演会について

11 月 25 日（土）川越南公民館を会場として計画しています。構想はほぼでき上がりましたので今後細部の詰めを行います。

（4）エコドライブ講習会について

川越市と協働で 11 月 11 日（土）にウェスタ川越、11 月 19 日（日）につばさ館をそれぞれ会場として実施します。

（5）平成 29 年度版かわごえの環境（第 1 号）の原稿依頼について

市から作成依頼がありました。例年どおり 2 月に環境フォーラム資料として作成した原稿を用います。

（6）平成 29 年度予算の執行状況と 10 月以降の分担について

支出経費の今後の見通しと 10 月以降の部会進行役・コラム寄稿者の分担を決めました。

4.環境ネット予算体系等について

若干の意見交換を行いました。

9 月部会進行は浜尾さん、広報原稿（私のエコ体験）は武田さんとなります。

（報告：板野徹）

＜おしらせ＞理事会と自然環境部会は、8 月の会議が休会のため、お伝えする事項がありません。

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事

【後援・トピック①】「自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園」ステージ出展（9 月 9 日）

9 月 9 日（土）12:00-17:00（昼の部）に伊佐沼公園において、川越青年会議所主催により開催される「自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園 ～自然を彩る、水と光と音と食～」に、かわごえ環境ネットがステージ企画「自然を学ぶ環境セミナー」で出展します。子どもが楽しめる自然環境を楽しめる「フィールドビンゴ」の実施を予定しています。

川越青年会議所ホームページ（http://www.kawagoe-jc.or.jp/2017/?p=570）にちらしが掲載されていますのでご覧ください。

【後援・トピック②】『「農」と里山シンポジウム』に横山副理事長が登壇（9 月 24 日）

9 月 24 日（日）13:00-16:30 にウェスタ川越多目的ホールで開催される第 8 回「農」と里山シンポジウム（三富地域農業振興協議会主催）のパネルディスカッション「未来への遺産・三富地域を語る」に横山三枝子本会副理事長がパネリストとして登壇します。

詳しくは「さんとめねっと」ホームページの記事をご覧ください（9 月 19 日まで申込必要）

https://www.santome.jp/133

【後援・トピック③】「2017 アースデイ・イン・川越 昭和の街」10 月 1 日開催

19 回目を迎えたアースデイ・イン・川越は、川越水上公園駐車場で 6 回、今の「小江戸蔵里」で 3 回、蓮馨寺を中心に、熊野神社、旧川越織物市場などを会場に、「アースデイ・イン・川越 立門前」の名で 9 回続けてまいりました。今年からは、地元の幅広い支えで「立門前」から「昭和の街」の冠をつけて開くことになりました。10 月 1 日（日）10:00-15:00 に開催します。

この「アースデイ川越」で最初からちらしに使われているシンボルマーク（本紙表紙参照）は、地球の周りを子供が取り巻く絵柄でずっと続けてまいりました。今年は、川越地区のボーイスカウトが参加、フードバンク運動と合わせ、「こども食堂」も開く方向で準備を進めています。

毎年参加する諸団体や行政とともに、「世界平和」「人類共存」「地球環境」「水と緑」「子らに“愛”」の 5 題で、標語、短歌、俳句、川柳、都都逸を幅広く募集し、高校生や大学生に呼びかけています。文化団体や世界俳句協会などにも参加をお願いしました。この作品を商店街に掲示し、入選作品を投票で選ぶ予定です。IS のテロや、北朝鮮のミサイル騒動、白人至上主義、ヘイトスピーチ問題と、「一句もの申す」材料は転がっています。また、会場準備など多数の方のご協力をお願いします。　（武田侃蔵）

【トピック④】「川越まつり会場クリーン活動」参加者募集（10 月 14・15 日）

＊本紙表紙にちらしの画像があります。

第 2 回川越まつり会場クリーン活動の季節になりました。

川越まつりは、江戸「天下祭」を今に再現した山車行事。精巧な人形を乗せた絢爛豪華な山車が、小江戸川越の象徴である蔵造りの町並みを中心に、町中を曳行（えいこう）されます。何台もの山車が辻で相対し、すれ違うさまは、そのスケールの大きさに、見物客を圧倒します。

昨年は観光客数 98 万 5 千人、そしてユネスコ無形文化遺産にも登録（2016 年 12 月）されたこともあり、今年は 26 台の山車が参加し、観光客は昨年を超えると予想されます。

会場クリーン活動の目的は、多くの観光客に気持ちよくお祭りを楽しんでいただくために行うものです。

赤いハッピを着て会場クリーン活動に参加しませんか！　昨年は 80 名の方々が参加、今年は何人かなー！

かわごえ環境ネット会員の有無は問いません。よろしくお願いします。

■川越まつり会場クリーン活動の概要

開催日：10 月 14 日（土）・15 日（日）

集合場所：川越市中原町 1-2-11 東側地先
かわごえ環境ネット テント

活動時間：11:00-21:00（2 時間単位）

活動場所：川越まつり会場と周辺（時間帯により活動場所が変わります）

申込先：　渡辺　電話・Fax.　049-242-4322
菊地　携帯　080-5546-2362
kikum.autumn@gmail.com

その他：活動用の赤いハッピとクリーン活動用の道具を用意しております（貸し出します）。

（菊地三生）

昨年の昼間の活動の様子

【トピック⑤】「第 16 回かわごえ環境フォーラム」環境活動報告投稿・発表者募集

本年度のかわごえ環境フォーラムは、2018 年 2 月 25 日（日曜日）9:30-17:00 にウェスタ川越（市民活動・生涯学習施設 活動室 1・2）を会場として環境活動報告会と講演会並びに対話の場「かわごえカフェ 2018」を開催します。

この行事は、各々の環境活動と役割を相互に理解し、川越市の望ましい環境像実現のための取組がいっそう活発になることを期待して毎年開催しているものです。

今回も、行事開催に先立ち、環境活動をされている個人・団体からの環境活動報告を広く募集します。かわごえ環境ネット会員の有無を問いません。みなさまの積極的な応募をお待ちしています。

投稿・発表申込期限は 11 月 20 日（月）、レポート投稿期限は 12 月 18 日（月）です。

募集要項は、会員のみなさまには本号に同封しています。それ以外の方は、かわごえ環境フォーラムホームページ（http://forum.kawagoekankyo.net）にも掲載していますのでご覧ください。

【トピック⑥】「第 16 回かわごえ環境フォーラム」協賛並びに広告掲載のお願い

上記トピック⑤でも書かれている通り、本会や会員の本年度の環境活動報告をまとめた「かわごえ環境活動報告集」を「第 16 回かわごえ環境フォーラム」開催に合わせて発行します。

本報告は、費用の一部を本会会員の協賛金でまかなっております。かわごえ環境フォーラムの運営にあたって協賛をお願いするとともに、下記要領で環境活動報告集に協賛広告を掲載いたしますので、ご応募をぜひお願いいたします。

本会会員事業者には、9 月の郵送資料においてご案内をお送りしております。会員外の事業者等からも協賛を募集します。詳しくは、かわごえ環境ネット事務局（川越市環境部環境政策課環境推進担当、Tel.049-224-5866、E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）までお問い合わせください。

【再掲・トピック⑦】環境施設視察研修会参加者募集（9 月 15 日実施）

8 月にお伝えした環境施設視察研修会ですが、まだ若干の余裕があります。定員に達し次第締め切りますので、参加希望者はすぐにご連絡ください。詳細は 8 月号同封のちらしまたはかわごえ環境ネット Web サイトをご覧ください。

開催日時：9 月 15 日（金）7:50 ウェスタ川越前集合

見学施設：①サンデンフォレスト赤城事業所（群馬県前橋市粕川町）、②ぐんまフラワーパーク（群馬県前橋市柏倉）

対象：かわごえ環境ネット会員（個人・家族、民間団体の活動者・家族、事業者の社員・家族、行政の職員）

参加費：3,500 円（フラワーパーク入園料込み）

募集人数：28 人、先着受付順

申込先：パソコンメール又は FAX で、お名前と連絡先の電話番号をかわごえ環境ネット:板野まで（Fax.049-225-6729, E-mail: itano.m-t@jcom.zaq.ne.jp

【再掲・トピック⑧】自然観察研修会「那須平成の森を訪ねて」（10 月 18 日実施）

8 月にお伝えした自然観察研修会「那須平成の森を訪ねて」ですが、まだ若干の余裕があります。定員に達し次第締め切りますので、参加希望者はすぐにご連絡ください。詳細は 8 月号同封のちらしまたはかわごえ環境ネット Web サイトをご覧ください。

那須連山の山麓に広がる森（560ha）は、希少種をはじめ多くの動植物が生息・生育していま

す。この豊かで多様な森で自然環境について学びます。
日時：10 月 18 日（水）7 時 15 分　川越駅西口ウェスタ川越前集合　少雨決行
参加費：4,000 円　弁当各自持参
参加者：かわごえ環境ネット会員（個人・家族、民間団体の活動者・家族、事業者の社員・家族、行政の職員）
募集人数：45 人、先着受付順
申込先：かわごえ環境ネット
　賀登（かど）　Tel.080-1158-9673
　菊地　Tel.080-5546-2362

会合

●社会環境部会（2017 年 9 月度）
日時：9 月 8 日（金）13:00-15:00
場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）
＊次回は 10 月 13 日（金）13:00-15:00 同所

●自然環境部会（2017 年 9 月度）
＊8 月は休会
日時：9 月 8 日（金）15:00-17:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 10 月 13 日（金）15:00-17:00 同所
＊両部会とも、会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会（2017 年度第 5 回）
日時：9 月 20 日（水）9:00-10:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 10 月 20 日（金）9:00-10:00 同所

◆理事会（2017 年度第 6 回）
日時：9 月 20 日（水）10:00-12:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 10 月 20 日（金）10:00-12:00 同所

◆広報委員会（2017 年 10 月度）
日時：10 月 4 日（水）9:00-10:10
場所：川越市役所本庁舎 5 階フリースペース（川越市元町 1-3-1）
＊次回は 11 月 8 日（水）9:00-10:00 同所

自然環境部会主催事業

＜定例活動＞

★「（仮称）川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第 2・第 4 月曜日）
日時：9 月 11 日・25 日,10 月 9 日・23 日（月）9:30-12:30
集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）
問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動
日時：9 月 5 日・10 月 3 日（火）9:00-12:00
場所：池辺公園（川越市池辺 1302）
問い合わせ：菅野

＜単回の調査・観察会＞

★甲虫調査
日時：9 月 10 日（日）9:00 集合（日付変更）
場所：川越水上公園（川越市池辺 880）
問い合わせ：過（Tel.049-246-1155）

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会
問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）
ホームページ http://blog.canpan.info/forest-musashi/

◎森林公園かんさつ会（考える会主催）
集合・時間：10:20 国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所（入園前受付）、参加費 200 円、入園料別途、観察用具（双眼鏡など）、昼食持参（園内レストランもあります）、雨天決行（雨具持参）

①9 月 23 日（土）10:20-15:00 ごろ
　森林公園で秋の花や木の実、野鳥との出会いを楽しみます。

②10 月 22 日（日）10:20-15:00 ごろ
③10 月 31 日（火）10:20-15:00 ごろ
（②③共通）今年も、センブリの可憐な花との出会いを楽しみます。みなさまぜひご参加ください。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：　9 月 9 日（土）9:30-12:30 ごろ
　　10 月 14 日（土）9:30-12:30 ごろ
場所：明見院（今福 677）近く
内容：農作業（B 級品のお土産付き）
会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2017 年度予定表

月	日	活動内容予定
9	9	キャベツの収穫、片付け他
10	14	大根畑の片付け他
11	11	里芋の収穫、片付け
12	9	ブロッコリーの片付け
1	13	雑木林の手入れ、くず掃き
2	10	雑木林の手入れ、くず掃き

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 事務局：佐藤（Tel.049-234-8500 [9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: info@minamikaze.or.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪

田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業（金曜日の 9:00-12:00）

期日：9 月 8・15・22・29 日（金）
場所：地域交流センターに集合、農作業は近隣の田んぼです。

◎月例会（同日 9:00-11:00 の作業終了後）

日時：9 月 8 日（金）11:00-12:00
場所：地域交流センター ホール

◎稲刈り

日時：9 月 16 日（土）9:00-12:00
（8:45 受付開始）
＊天候により日程が変更する場合があります。参加希望の方はお問い合わせください。

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel.070-5599-2623）
ホームページ http://kawagoesatoyama.ciao.jp/

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬によるお米作りや生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

入会は随時受け付けています。

◎稲刈り

日時：9 月 23 日（土）9:00（受付開始）-
場所：CO 江戸かわごえ「初雁の里」田んぼ（川越市福田 310 地先）福田の田んぼ現地集合です。
参加費：一般 300 円，会員・井戸掘りプロジェクト（FAAVO）支援者は無料

◎例会

日時：9 月 23 日（土）16:30-18:00
場所：北部地域ふれあいセンター（川越市山田 1578-1）

活動に興味のある方はどなたでも参加できます。稲刈り後の開催となります。

今後の主なイベント（変更の可能性があります）

期日	時間	内容
10/14（土）	10:00-15:00（受付 9:30）会員限定	収穫祭・・・マコモ収穫お楽しみ企画､新米おにぎりなど

東洋大学小瀬研究室（東洋大学川越キャンパス こもれびの森・里山支援隊／地域活性化研究所）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）
こもれびの森・里山支援隊 http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/

＜こもれびの森・里山支援隊＞

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

①9 月 10 日（日）8:30 集合-16:00 解散（荒天中止）

②10 月 8 日（日）8:30 集合-16:00 解散（荒天中止）

集合場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館こもれびの道側入口（川越市鯨井 2100）

費用：無料

内容：手鋸、剪定鋏等を用いた小径木の伐採、下刈りなど。

持ち物:汚れてもよい服装(長袖､長ズボン)､靴､手袋（軍手等)､手ぬぐい・バンダナ（ヘルメットの下に身に付けます)､タオル､飲み物､弁当・飲み物など､あれば自前の道具(手鋸､剪定バサミ)

申込・問い合わせ：準備の都合上、開催日前の木曜日までにご連絡ください。

＊開催案内ブログ：こもれびの森・里山支援隊（http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/）

＊中止の場合 Twitter で開催当日 6:30 ごろ通知（https://twitter.com/toyokomorebi/）

＊報告 Facebook（https://www.facebook.com/komorebisatoyama/）

＜地域活性化研究所＞

◎「昭和の街の感謝祭 2017」ツアー&ワークショップ

日時：9 月 9 日（土）11:00-17:00

場所：蓮馨寺（川越市連雀町 7-1）

参加方法：当日直接会場へ

「昭和の街」の「昭和」らしさを発見しよう。商店街のすべてのお店を巡る「お店巡りツアー」を 4 回開催（11:30-12:30, 13:00-14:00, 14:30-15:30, 16:00-17:00）します。参加者にはおなじみの「コッペパン」を優先配布。会場とお店で当日使えるチケットも進呈します。

「昭和の街」の景観に関するアンケートも実施します。こちらも回答者にチケットを進呈します。詳しくは当日会場にて。

＊詳細は東洋大学地域活性化研究所ホームページ(http://www.toyo.ac.jp/site/irvs/)に掲載します。

◎「2017 アースデイ・イン・川越 昭和の街」ツアー&ワークショップ

日時：10 月 1 日（土）10:00-15:00

場所：蓮馨寺（川越市連雀町 7-1）

参加方法：当日直接会場へ

9 月 9 日の結果を踏まえて内容は決定します。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 金曜日

日時：10 月 3 日（火）・10 月 20 日（金）13:30-15:00（9 月 5 日・9 月 15 日はかわごえ環境ネットの行事のため中止）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：9 月 10 日・10 月 8 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第 4 土曜日

日時：9 月 23 日・10 月 28 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9:00 より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田(Tel.090-2521-5770)へご連絡ください。

①9 月 24 日（日）9:00-11:00

旭橋右岸集合、上下流域の両岸を清掃。旭橋左岸空地にごみ分別して収集、解散。

②10 月 22 日（日）9:00-11:00

高沢橋下の右岸より石段下集合。高沢橋から氷川橋まで。北公民館で分別して解散。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野（Tel.049-222-1731）、当日の携帯電話連絡（Tel.090-7003-8617）

◎伊佐沼でバードウオッチング

（毎月第 2 日曜日、小雨決行）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

解散：集合場所にて 12:00 ごろ

①9 月 10 日（日）10:00-12:00

残暑が続きますが野鳥の世界では秋、渡りの季節です。シギやチドリの仲間が沼で羽を休めています。

②10 月 8 日（日）10:00-12:00

ダイサギ、チュウサギ、コサギのほか、一番多くの種類の見られる月です。カモも先発隊が飛来しています。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2017 年 10 月号(No.132, 10 月上旬発行予定)の掲載原稿は、9 月 15 日（金）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●会員募集

かわごえ環境ネット会員になれば、毎月本紙を郵送でお届けするとともに、関連するチラシなども同封します。専門委員会の活動にも参加でき、さまざまな人的な交流や情報交流ができます。

個人会員は 1,000 円､5 名以上の団体会員は 2,000 円で会員になれます。入会についての詳細は、かわごえ環境ネットホームページをご覧いただくか、事務局にお問い合わせください。

http://kawagoekankyo.net/news/admission.html

●インターネットでの情報発信

1.ホームページで本紙がカラーで見られます

2.Twitter でかわごえ環境ネットをフォロー

3.Facebook ページ「いいね！」してください

各ページはブラウザで検索するか QR コードからアクセスしてください。スマートフォンにも最適化されています。

QR　ホームページ　　Twitter　　Facebook ページ

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが､これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（9 月 6 日～10 月 14 日）

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください			9/6	9/7	9/8 ◎9:00 農作業・月例会（みなみかぜ） ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	9/9 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎11:00 昭和の街の感謝祭 ★12:00 自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園
9/10 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ★9:00 甲虫調査 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	9/11 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全活動	9/12	9/13	9/14	9/15 ●7:50 環境施設視察研修会（群馬） ◎9:00 農作業（みなみかぜ） 〇アースデイ・イン・川越標語等応募締切 〇本紙 10 月号投稿期限	9/16 ◎9:00 稲刈り（みなみかぜ）
9/17	9/18 敬老の日	9/19	9/20 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	9/21	9/22 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	9/23 秋分の日 ◎9:00 稲刈り（かわごえ里山） ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ◎13:30 まち美化啓発活動 ◎16:30 例会（かわごえ里山）
9/24 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ★13:00「農」と里山シンポジウム	9/25 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全活動	9/26	9/27	9/28	9/29 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	9/30
10/1 ★10:00 アースデイ・イン・川越 昭和の街	10/2	10/3 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	10/4 ◆9:00 広報委員会	10/5	10/6	10/7
10/8 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	10/9 体育の日 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全活動	10/10	10/11	10/12	10/13 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	10/14 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎10:00 収穫祭（かわごえ里山） ★11:00-21:00 川越まつり会場クリーン活動（15 日も）

月刊 かわごえ環境ネット 2017 年 9 月号 No.131

発行日　2017 年 9 月 5 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/